

平成18年3月分電力需給状況

需要の概要

平成18年3月の販売電力量は、23億5千6百万kWh時、前年比101.5%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、2月の気温が前年に比べ高めに推移したことによる暖房需要の減少などから、前年比99.5%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は堅調に推移し、前年比103.3%となった。

産業用の「大口電力」は、紙・パルプ、化学、機械などが生産増や自家発電止などから前年を上回り、前年比106.0%となった。

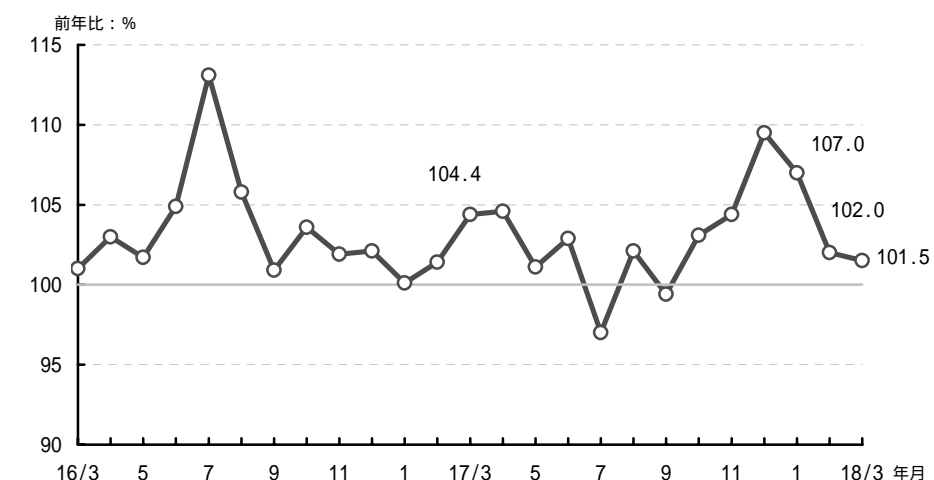
需要実績

(百万kWh時、%)

		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	816	99.5
	電 力	175	93.5
	計	991	98.4
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	488	103.3
	産業用電力	877	104.3
	うち大口電力	(671)	(106.0)
	計	1,365	103.9
販売電力量 計		2,356	101.5
融 通		184	28.0

注1. 特定規模需要とは、特別高圧電力および高圧電力の合計で自由化の対象。
 2. 17年4月より自由化範囲が拡大されたことに伴い、16年度以前の需要区分と一部異なる。
 前年比は、前年同月の実績を現在の区分に合わせるにより算定した。

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



大口電力の主な産業別内訳

(百万kWh時、%)

	電力量	前年比		
		18/3月	18/2月	18/1月
紙・パルプ	120	114.6	111.7	116.7
化 学	145	109.7	107.7	103.1
鉄 鋼	78	87.6	97.5	87.3
機 械	140	108.0	106.7	106.6
そ の 他	188	105.8	104.4	103.8
合 計	671	106.0	105.8	103.9

(参考2) 4県都平均気温

	18/2月				18/3月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実 績	5.2	7.4	9.3	7.2	8.4	8.3	9.9	8.9
平年差	0.1	0.9	2.8	1.1	0.5	0.9	0.7	0.4
前年差	0.2	0.3	3.9	1.2	0.3	0.2	0.7	0.2

供給の概要

- 原子力は、定検の影響により前年比130.4%となった。
- 水力は、豊水により前年比113.2%となった。
- 火力は、原子力・水力の増加や融通送電の減少から、前年比64.8%となった。

供給実績

(百万kWh時、%)

	電力量	前年比	備 考
原子力	(39) 1,113	130.4	出水率 111.9% (17年3月出水率 102.9%)
水 力	(11) 317	113.2	
火 力	(50) 1,416	64.8	
発受電計	(100) 2,846	85.8	
その他	0		
供 給 計	2,846	85.8	

注.()内は構成比

(参考3) 各県別の需要状況

(百万kWh時、%)

	徳 島	高 知	愛 媛	香 川
販売電力量計	(99.7) 542	(97.2) 378	(103.4) 820	(103.5) 616

注.()内は前年比